

# 「標的型攻撃メールに対する対策」について

日本年金機構が保有している個人情報流出した事案が発生しました。  
日本年金機構、年金事務所のほか、警察その他官庁を騙り、

**○ 電話・訪問等により、基礎年金番号等を聞くこと**

**○ 名簿の削除等を口実にお金を請求すること**

は絶対にありません。

また、この事案を口実とした各種犯罪の発生も懸念されますので注意してください。

## 標的型攻撃メールの対策ポイント

### 1 パソコンを使用する場合の注意点

- 相手方がわからない等、不審なメールの場合、添付ファイルは開かない。
- HP等で公開しているアドレスは攻撃を受けやすいので注意が必要。
- 送信元が無料で利用できるフリーメールアドレスの場合は注意が必要。

### 2 システムに対する対策

- オンラインシステム等の業務用端末とインターネットを遮断する。
- インターネット接続パソコンに、個人情報等を記録するシステムを構築しない。（記録する場合は暗号化、パスワード設定を行う）
- 最新のウイルス対策ソフトを導入する。
- OSやソフトウェアを最新の状態に更新する。
- 添付ファイルを自動受信（開封）しない設定にする。



### 本件に関する問合せ先

群馬県警察本部生活安全部生活安全企画課サイバー犯罪捜査室  
電話：027-243-0110（内線3491、3495）  
（夜間休日 内線3485）

サイバー犯罪被害通報・相談電話

電話：080-2350-0001（平日 8:30～17:15）  
E-mail：[cyberpolice\\_gunma@docomo.ne.jp](mailto:cyberpolice_gunma@docomo.ne.jp)